

目次

第1章 まず、地図を表示してみる	7	1章 ます、 表示地図 してみる
1-1. プロジェクトにデータを追加して表示する	8	
1-2. プロジェクトからデータを削除する	10	
1-3. 現在のデータ構成、何が表示されているか確認する	11	
1-4. 表示されているデータの属性情報を調べる	14	
1-5. マルチポリゴン属性照会	16	
1-6. 住所から地図上の位置を探す	17	
1-7. 指定した座標に地図を移動する	18	
1-8. 索引図や拡大図と合わせて地図を表示する	20	
1-9. 今の地図上で、距離や面積を調べる	22	
1-10. 今の表示場所を覚えておく（ブックマーク）	23	
1-11. 「データ」から「データ」を呼び出す	24	
1-12. 複数のレイヤーを1つのフォルダーにまとめる	28	
第2章 地図のいろいろな表現方法	31	2章 地図のいろいろな 表現方法
2-1. 面データ	32	
2-1-1. 面データを塗りつぶす	32	
2-1-2. 面データを部分透明で塗りつぶす	35	
2-1-3. 面データをグラデーションで塗りつぶす	36	
2-1-4. 面データの属性を表示する	38	
2-2. 線データ	42	
2-2-1. 線データで使えるいろいろなペン	42	
2-2-2. 線データの属性を表示する	46	
2-2-3. 線データに沿わせて文字列を表現する	49	
2-3. 点データ	50	
2-3-1. 点データに使えるシンボル	50	
2-3-2. シンボルの方向を属性値により変える	53	
2-3-3. ベクターシンボルを自分で作図する	54	
2-4. 注記	56	
2-4-1. 注記（文字）を表示する	56	
2-4-2. 注記（文字）に引き出し線をつけて表示する	59	
2-4-3. 注記（文字）に整飾をつけて表示する	62	
2-4-4. 注記（文字）をHTML記法で表示する	64	
2-4-5. 重複した注記（文字）のうち1つを代表表示する	66	
第3章 データの作成と編集方法各種	6	3章 データの作成と 編集方法各種
第4章 画像データの扱い	4	
第5章 データベース処理	5	
第6章 座標系と地図投影	6	
第7章 高度な操作	7	
第8章 成果品を印刷	8	
第9章 自分用にデータマイズ	9	
第10章 いろんな形式のデータ	10	

1 章	まず、表示地図を見てみる	2-5. 描画表現自由自在	68
		GIS の描画表現	68
		2-5-1. 塗りつぶす色を設定する	69
		2-5-2. 線の色を設定する	72
		2-5-3. ポイントを設定する	74
		2-5-4. 描画パラメーターを使って表現方法を変更する（面・線・点）.....	76
		2-5-5. 描画パターンを切り替える	78
		2-5-6. 広域ベクターの利用.....	80
2 章	地図のいろいろな表現方法	2-6. グラフを表示する	82
		2-6-1. データ属性を使って、地図上にグラフを表現する	82
3 章	データの作図と各種編集方法	2-7. データに応じて、ベクターのサイズを変更する	86
		2-7-1. シンボルサイズを変える	86
		2-7-2. 線の太さを変える	87
4 章	画像データの扱い	2-8. ベクターの属性を確認する	88
		2-8-1. クイック属性照会	88

5 章	データベース処理	第3章 データの作図とさまざまな編集方法	91
6 章	座標系と地図投影	3-1. プロジェクトの作成・編集の基本	92
		3-1-1. 新規にプロジェクトを作成する	92
		3-1-2. 位相構造検査を行う	94
		3-1-3. 編集作業を行わないレイヤーを設定する	96
		3-1-4. 複数同時作業時の編集制限レイヤーを設定する	97
7 章	高度な操作	3-2. 新規データの作図	98
		3-2-1. まず、線を描く	98
		3-2-2. 他の線に結合する	100
		3-2-3. ポリゴン（面データ）を作る	102
		3-2-4. ポリゴン生成時のエラー修正方法	104
		3-2-5. ドーナツポリゴンを作成	106
		3-2-6. 1 アーク 1 ポリゴン構造のデータを作成する	108
		3-2-7. 距離と方向を指定して点を置く	109
		3-2-8. 画像を背景におく	110
		3-2-9. 他の図形の線分を参照して図形を作図する	112
		3-2-10. 座標を指定して作図する	113
		3-2-11. いろいろな作図	114
8 章	成果品を印刷		
9 章	自分でスマートマイズ		
10 章	いろんな形式データ		

3-3. 形状位置の変更	124
3-3-1. 図形の形状を変更する	124
3-3-2. 図形をコピーする	126
3-3-3. 図形の形状を平滑化（簡略化・補間点追加）する	130
3-3-4. 作図した図形を直角に補正する	131
3-3-5. 微妙に離れた線どうしを結合する	132
3-3-6. 図形のオフセットを行う	134
3-3-7. 線の方向を反転させる	136
3-3-8. 線の交点をつかまえる	137
3-3-9. 図形の回転・サイズ変更をする	138
3-3-10. 隣接するポリゴンの境界線を変更する	140
3-3-11. 線どうしの上下関係を変更する	142
3-3-12. 文字列（属性）とアーケの交点をつかまえる	143
3-3-13. 図形を自由に動かして配置する	144
3-4. データの分割・統合	146
3-4-1. アークを任意の位置で分割する	146
3-4-2. 連続する複数のアーケを1つにまとめる	147
3-4-3. ポリゴンを分割する	148
3-4-4. 選択したポリゴンを合併する	152
3-4-5. 同じ属性のポリゴンを合併する	153
3-4-6. 選択したデータを別のレイヤーに引っ越しする	154
3-4-7. レイヤーデータをメッシュに分割する	156
3-4-8. 複数のレイヤーを一つにまとめる	157
3-4-9. 指定する任意の領域でデータを切り出す	158
3-5. データからデータを作成する	160
3-5-1. 平面直角座標データからポイントを作成する	160
3-5-2. 座標データからポイントを作成する	162
3-5-3. バッファー（等距離圏の領域）を作成する	163
3-5-4. ポイントからアーケを作成する	164
3-6. 簡易な作図法あれこれ	166
3-6-1. クイックシェイプ	166
3-6-2. クイックシェイプをレイヤーデータに変換する	171
3-6-3. E シェイプ	172

4-1. 画像を現在の地図の背景として表示する	178
4-2. 画像データを任意の矩形領域で切り出す	179
4-3. 座標のない画像に座標を付与する	180
4-4. 複数の画像データを1つにする	182
4-5. 大量の画像を地図の背景において表示する	183
4-6. 統合広域イメージとは	184

第5章 データベース処理

187

5-1. データベースの基本	188
データベースの基礎知識	188
5-1-1. 属性情報を一覧表示する	190
5-1-2. 属性フィールドの背景色を設定する	191
5-1-3. レコードを昇順・降順で並べ替える	192
5-1-4. 条件を設定してレコードを並べ替える	193
5-1-5. 新規にフィールドを作成する	194
5-1-6. フィールド名を変更する	195
5-1-7. フィールドのスタイルを変更する	196
5-1-8. 他のテーブルと関連づける	197
5-2. データベースの入力	198
5-2-1. 属性の値を手動で入力する	198
5-2-2. フィールドの値を別のフィールドにコピーする	199
5-2-3. 入力値をリストから選択する	200
5-2-4. 選択したデータの値を一括で変更する	202
5-2-5. ポイントの座標値をデータベースに出力する	203
5-2-6. ポリゴンの面積をデータベースに出力する	204
5-2-7. ポイントの内部属性を、最も近い別のポイントの内部属性に付加する	205
5-2-8. ポイントの属性に、そのポイントを含むポリゴンの属性を付加する	206
5-2-9. 自動で連番を付与する	207
5-2-10. 「辞書」データベースを作ってリンクする	208
5-2-11. アークの属性テーブルに、そのアークが構成しているポリゴンの属性を付加する	211
5-3. データベースの利用	212
5-3-1. 属性値の統計情報を算出する	212
5-3-2. 条件を設定してレコードを抽出する	213
5-3-3. 座標データを持つレコードからベクターデータを生成する	214
5-3-4. キーワードを指定して全てのデータを検索する	216
5-3-5. 属性が重複しているレコードを見つける	218

6-1. 座標系と地図投影について	220
6-2. 今のデータの座標系を知るには.....	222
6-3. 異なる座標系のデータを合わせこむには	223
6-4. 投影変換をするには	224
6-5. 座標がないデータに座標を付与するには（正規化）	229
6-6. 座標がないデータに座標を付与するには（合わせ込み）	234
6-7. 座標がないデータをそのまま使うには（見たままに貼り付ける）	237
6-8. 測地成果 2000 と測地成果 2011 の取り扱いについて	239

第7章 高度な操作

243

7-1. 地図上で範囲を指定してデータを選択する	244
7-2. データ間の位置関係からデータを選択するには	246
7-3. 各データの領域に含まれるポイントの数を集計する	247
7-4. 2種類の面と面の重なりを集計する	248
7-5. ポリゴン属性のメッシュ変換	251
7-6. 標高データを取り込んで表示する	252
7-7. 指定の線上の高さを取得する（断面図）	254
7-8. 陰影図を作つてベクター地図と重ねて見る	256
7-9. 傾斜方向を知る	258
7-10. TIN レイヤーを作成する	259
7-11. いわゆる最短経路検索を実行する	260
7-12. ネットワークを使って到達できる境界点を抽出する	262
7-13. 断水シミュレーションとは	264
7-14. セールスマント 巡回問題解析	266
7-15. 3変数を使ってポリゴンを塗り分ける	268
7-16. 点データの空間的な集まりを可視化する（カーネル密度地図）	272
7-17. ランダムポイントからのメッシュ生成（クリギング法）	275
7-18. ランダムポイントからのメッシュ生成（1次補間法）	277
7-19. 浸水想定ベース地図作成	280
7-20. ポロノイ分割	283
7-21. 接峰面・接谷面	284
7-22. 3D プロジェクト作成	285

8-1. まず、簡単に見たままを印刷してみる	290
8-2. 縮尺や用紙を設定して印刷する	291
8-3. 詳細な設定をして任意の領域を印刷する	293
8-4. 「台紙」になるベクターデータを用意する	296
8-5. 「台紙」の上に地図データを重ねて印刷する	299
8-6. 「台紙」を含めた印刷プレビュー	300
8-7. データ領域をまとめて印刷する	302
8-8. 面データで指定する領域をまとめて印刷する	303
8-9. 印刷ではなく、EPSデータとして出力する	306
8-10. 3Dプリンターに印刷する	308

第9章 自分用にカスタマイズ

311

9-1. メニューとコマンドを知ってボタンを作る	312
9-2. ボタンに複数のコマンドを登録して連続処理する	314
9-3. ツールバーを整理してまとめる	318
9-4. もうひとつのメニュー「タスクバー」を使いこなす	320
9-5. ショートカットからの起動方法あれこれ	322

第10章 いろんな形式のデータ

325

10-1. CADファイル(DXF/SXF)に出力するには	326
10-2. GeoJSON/TopoJSONファイルの場合	328
10-3. KML(KMZ)ファイルの取り込みと出力	330
10-4. 写真を撮影位置情報も合わせて取り込み、地図データとする	332
10-5. GPSログファイルから軌跡を地図データに取り込む	333
10-6. (CSVだけでなく) Excelデータを直接取り込むには	334
10-7. 地理院地図の利用あれこれ	336
10-8. 今の地図の場所を地図サービスで見る	337

索引

339

付録

付録 1

最新版の検索とダウンロード	付録 2
よく使う用語をマスター	付録 4
線(アーカ)の色や太さが決まるまで	付録 6
問題が起きた時に報告して問い合わせる	付録 18